

だい しょう み  
第1章 見えないということ

め み ひと  
(1) 目の見えない人とは

め ふじゆう りゆう う ひと とちゆう びょうき  
目が不自由になった理由は、生まれつきの人、途中で病気になっ

ひと ひと ちが  
た人など、人によって違います。

め み まった み ひと した しゃしん  
目の見えにくさには、全く見えない人や、下の写真のようにもの

み ひと み  
が見えにくい人などいろいろな見えにくさがあります。

くるま ちか  
車が近づいてい  
ることが、  
ギリギリまでわ  
からないの  
ね・・・



くるま とつぜん め  
車が突然目の  
まえ き ちか  
前に来たら危な  
いね



み けしき  
ふだん見ている景色



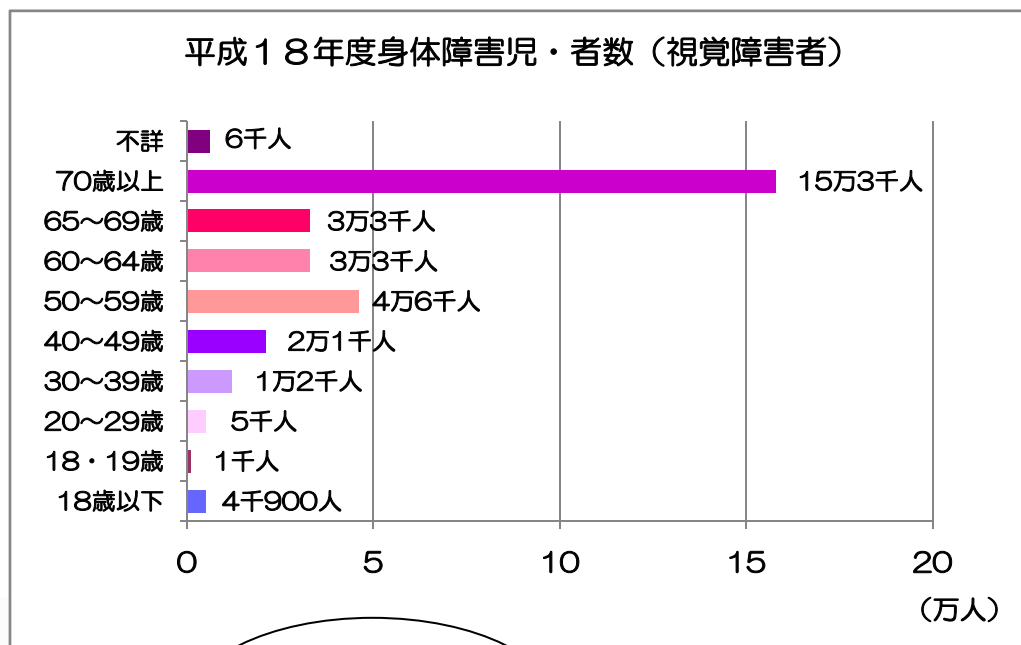
ま なか  
真ん中だけまっくら



み  
もやがかかって見える

へいせい ねんど くに ちょうさ め ふじゆう ひと  
 平成18年度に国が調査したところによると、目の不自由な人は

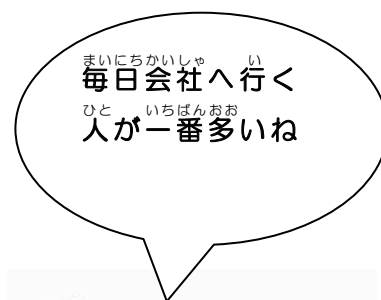
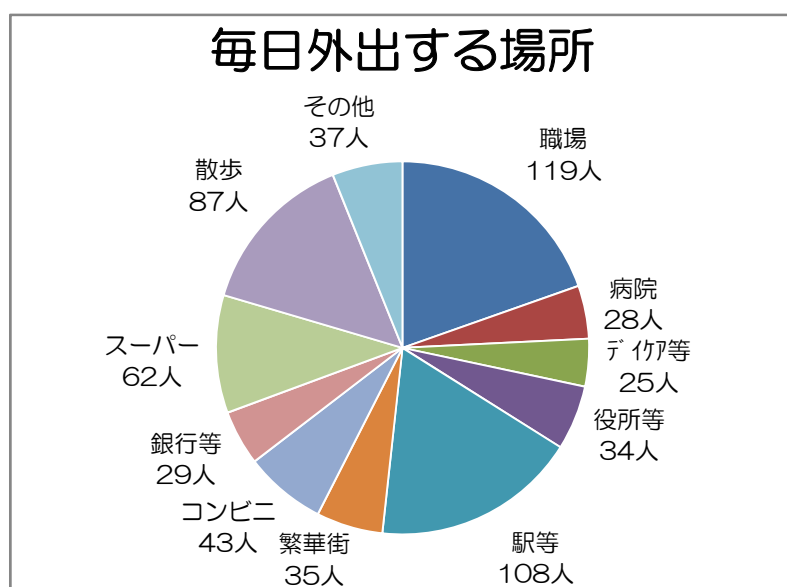
ぜんこく やく まんにん  
 全国で約31万人います。



さいいじゆう ひと  
 70歳以上の人  
 がいっぱいいる  
 ね

へいせい ねん にほんもうじんかいれんごう ぜんこく め ふじゆう ひと にん  
 平成22年に日本盲人会連合が、全国の目の不自由な人419人

ちょうさ まいにちがいしゅつ ばしょ けっか  
 に調査した毎日外出する場所についての結果です。

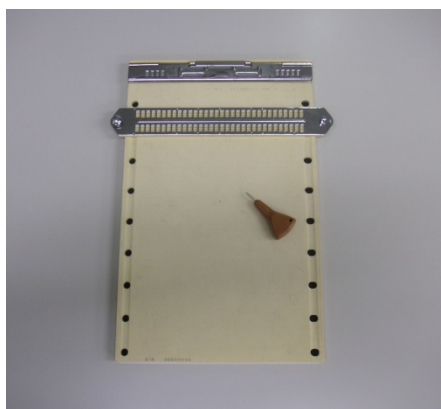


まいにちかいしゃ へい  
 毎日会社へ行く  
 ひと いちばんおお  
 人が一番多いね

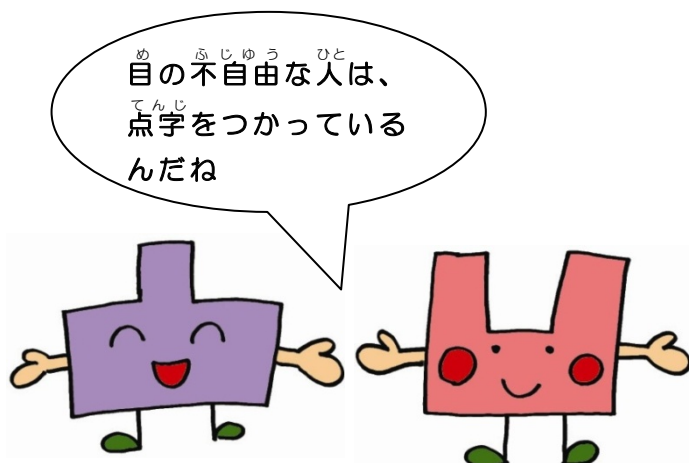
め ふじゆう ひと たいへん い  
 目の不自由な人にとって、もっとも大変なことと言われているこ  
 とが、2つあります。それは「<sup>じょうほう え</sup>情報を得ること」と「<sup>いどう</sup>移動すること」  
 です。  
 みな ふだん え じょうほう やく め はい じょうほう  
 皆さんが普段得ている情報の約80%は目から入ってくる情報  
 だと言われています。皆さんが<sup>い</sup>読んで<sup>みな</sup>いる<sup>よ</sup>文字<sup>も</sup>（<sup>じ</sup>点<sup>てん</sup>字<sup>じ</sup>に<sup>たい</sup>対<sup>す</sup>して<sup>すみ</sup>墨<sup>じ</sup>字<sup>じ</sup>と  
 いいます。）で書かれていても、<sup>か</sup>目の<sup>め</sup>不<sup>ふ</sup>自<sup>じ</sup>由<sup>ゆう</sup>な<sup>ひと</sup>人は<sup>てん</sup>わ<sup>ん</sup>か<sup>り</sup>ま<sup>せ</sup>ん。点<sup>てん</sup>字<sup>じ</sup>  
<sup>おん</sup>や<sup>せい</sup>音<sup>つた</sup>声<sup>え</sup>で<sup>じょう</sup>伝<sup>え</sup>えて<sup>じぶ</sup>もら<sup>ん</sup>わ<sup>な</sup>いと、<sup>じょう</sup>情<sup>え</sup>報<sup>じぶ</sup>を得<sup>ん</sup>る<sup>じぶ</sup>ことが<sup>じぶ</sup>でき<sup>ん</sup>ま<sup>せ</sup>ん。自<sup>じぶ</sup>分<sup>ん</sup>  
<sup>し</sup>の<sup>じょう</sup>知<sup>しん</sup>り<sup>ぶん</sup>たい<sup>み</sup>情<sup>み</sup>報<sup>たい</sup>だけ<sup>へん</sup>を、<sup>め</sup>新<sup>め</sup>聞<sup>め</sup>など<sup>め</sup>から<sup>め</sup>見<sup>め</sup>つ<sup>め</sup>け<sup>め</sup>る<sup>め</sup>こ<sup>め</sup>とも<sup>め</sup>大<sup>め</sup>変<sup>め</sup>です。目  
<sup>ふ</sup>の<sup>じ</sup>不<sup>じ</sup>自<sup>じ</sup>由<sup>ゆう</sup>な<sup>ひと</sup>人<sup>みな</sup>も<sup>お</sup>皆<sup>し</sup>さん<sup>じょう</sup>と<sup>し</sup>同<sup>し</sup>じ<sup>し</sup>よ<sup>し</sup>う<sup>し</sup>に、<sup>し</sup>知<sup>じょう</sup>り<sup>し</sup>たい<sup>し</sup>情<sup>し</sup>報<sup>し</sup>を<sup>し</sup>す<sup>し</sup>ぐ<sup>し</sup>知<sup>し</sup>る<sup>し</sup>こ<sup>し</sup>  
 と<sup>い</sup>が<sup>い</sup>で<sup>い</sup>き<sup>い</sup>る<sup>い</sup>よ<sup>い</sup>う<sup>い</sup>に<sup>い</sup>な<sup>い</sup>る<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>と<sup>い</sup>を<sup>い</sup>望<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>で<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>す。ま<sup>い</sup>た、<sup>い</sup>自<sup>い</sup>分<sup>い</sup>で<sup>い</sup>文<sup>い</sup>字<sup>い</sup>を<sup>い</sup>書<sup>い</sup>  
 こと<sup>む</sup>が<sup>ず</sup>難<sup>ず</sup>しい<sup>ず</sup>た<sup>ず</sup>め、<sup>け</sup>契<sup>け</sup>約<sup>け</sup>書<sup>け</sup>や<sup>た</sup>宅<sup>た</sup>急<sup>た</sup>便<sup>た</sup>など<sup>ひ</sup>サ<sup>ひ</sup>イ<sup>ひ</sup>ン<sup>ひ</sup>が<sup>ひ</sup>必<sup>ひ</sup>要<sup>ひ</sup>に<sup>ひ</sup>な<sup>ひ</sup>った<sup>ひ</sup>と  
 き<sup>こ</sup>に、<sup>こ</sup>困<sup>こ</sup>る<sup>こ</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>こ</sup>が<sup>こ</sup>あ<sup>こ</sup>り<sup>こ</sup>ま<sup>こ</sup>す。

点字: ⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

墨字: にほん もうじんかい れんどう



てんじき てんじ う どうぐ  
点字器（点字を打つための道具）



め ふじゆう ひと いどう ばあい じょうきょう かくにん ある  
目の不自由な人が移動する場合、まわりの状況を確認しながら歩

むすか ぎゃく ほうこう ある どうろ ま  
くことがとても難しく、逆の方向に歩いてしまったり、道路の真ん

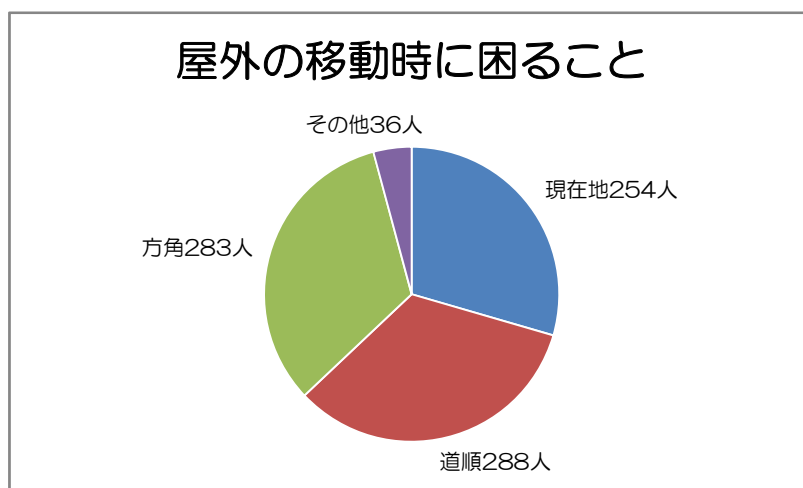
なか ある おおけが い さき  
中を歩いたりして、大怪我につながることもあります。また、行き先

み かんたん  
を見つけることが簡単ではありません。

そと で えき おうだんほう きけん ところ おお  
外に出ると、駅のホームや横断歩道など、危険な所が多くあるの

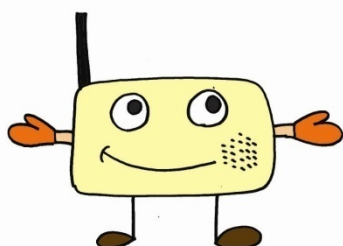
め ふじゆう ひと いどう たす おと てあし かんかく じょう  
で、目の不自由な人の移動を助けるために音や手足の感覚により情

ほう つた きき せっち きき しょう  
報を伝える機器が設置されていて、それらの機器を使用しています。



め ふじゆう ひと たす  
目の不自由な人を助  
けるための機器って  
どんなものだろう。

へいせい ねん にちもうれん  
(平成22年 日盲連アンケート)

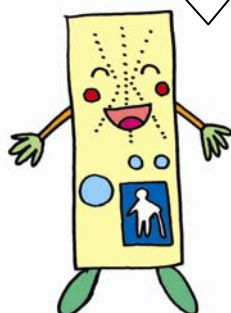


にちじょうせいかつ  
(2) 日常生活

め ふじゆう ひと き ばしょ もの お 物の ふ  
目の不自由な人は、いつも決まった場所に物を置くことで、物を踏  
こわ  
んで壊したり、ぶつかったりしないように動くことができます。い  
うご  
つもと違う場所に物が置いてあると、ぶつかったり転んだりして  
ちが ばしょ もの お ころ  
怪我をする原因にもなります。

つか もの おな ばしょ お さわ  
いつも使っている物をいつもと同じ場所に置いたり、触るとわか  
るし  
る印をつけたりして、ふだんの生活が、スムーズにいくように、工夫  
せいかつ くふう  
しています。また、め ふじゆう ひとよう せいひん おお つく  
るのでそれらにも助けられています。下の写真は、カラートークと  
いたす した しゃしん  
いい、いろ し 色の知りたい物の表面にあてレバーを押すと、いろ おし  
れま ます。お つづ がつきおん 移動させると色が  
いろ  
かわ った位置で楽器音もかわり色の変化がわかります。洋服のコー  
か いち がつきおん いろ へんか ようふく  
ディネートや靴下の色を左右で間違えないようにするためなどに  
くつした いろ さゆう まちが  
しょう  
使用しています。

みんな いろいろ くふう  
して生活しているん  
だね  
せいかつ



カラートーク



### (3) 仕事

むかし め ぶじゆう ひと ゆびさき かんかく すぐ ひと おお い  
昔から目の不自由な人は、指先の感覚が優れている人が多いと言

われ、「あん摩、マッサージ指圧、鍼、灸」を行ってきました。

げんざい しごと ひと ぶ こうむいん  
現在では、パソコンの仕事をする人も増えてきました。公務員や

がっこう せんせい ほか しょうすう いしゃ べんごし  
学校の先生の他、少数ですが、医者、弁護士もいます。



ま しあつ  
あん摩 マッサージ指圧

あん摩のお仕事につ  
いていて人が多いん  
だね



お医者さんや  
弁護士さんもいる  
んだね



いどう がいしゆつ  
(4) 移動や外出

め ふじゆう ひと そと ある しろ つえ はくじょう まわ  
目の不自由な人が外を歩くときには、白い杖（白杖）をもって周  
りのおと にお あし かんしょく だんさ でんちゆう おお じょうほう たよ  
りの音や匂い、足の感触、段差、電柱など、多くの情報を頼りに  
もくてきち い かた おほ もうどうけん とくべつ くんれん う  
して目的地までの行き方を覚えます。盲導犬という特別な訓練を受  
けた犬を連れて移動している人もいます。

もうどうけん ほうりつ みと め ふじゆう ひと いっしょ でんしゃ  
盲導犬は法律でも認められていて、目の不自由な人と一緒に電車  
の みせ いっしょ はい げんざい  
やバスに乗ったり、お店などに一緒に入ることができます。現在、  
こくない いちばんおお かつやく  
国内では、ラブラドル・レトリバーが一番多く活躍しています。

もうどうけん み さわ みまも  
盲導犬を見かけたらなでたり、触ったりしないようにそっと見守  
ってあげましょう。



もうどうけん  
盲導犬



め ぶじゆう ひと たいへん 移動する こと がある とい

う こと を お話 し しまし た が、 音 や 指 先、 足 の 感 触 から 情 報 を 得 る

こと で 移 動 を 助 け る 機 器 が あり、 下 の 写 真 に あり 機 器 が 外 出 し た と

きに 安 全 で 安 心 し て 移 動 が で き る よう に 支 え て い ま す。



てんじ  
点字ブロック



てんじあんない  
点字案内



ないじょうほうそうち  
トイレ内情報装置



おんせいあんない  
音声案内

